級別に取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

漢検 2 級

第5巻　問題のみ

読み、書き、くり返し。

36字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

戸 才 教 数 新 方

問題にじっくり取り組む

本文 36ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

diglabo

漢検の級別配当を参考にした独自教材です。公式問題集ではありません。

2きゅう 5かん たんい1 A

なまえ

/ 16

1. 台風の夜は 雨(あま) □(ど) をしめる
2. □(きょう) 室(しつ) のかべに習字(しゅう)をはる
3. 父は毎朝 □(しん) 聞(ぶん) を読む
4. 小学校に入って □(いち) 年(ねん) がたつ
5. お正月のある □(いち) 月(がつ) は寒(さむ)い
6. お客(きゃく)さんを □(と) 口(ぐち) で見送(おく)る
7. 国語の □(きょう) 科(か) 書(しょ) を読む
8. 家族(ぞく)で □(しん) 年(ねん) を祝(いわ)う
9. ピアノの 天才 とよばれる少女 □
10. 手の上のどんぐりを 数える □
11. 声のする 方 をふり向(む)く □
12. おばあちゃんから 入学 のおいわいをもらう □
13. 算数 のテストで百点をとる □
14. 地図の 見方 を習(なら)う □
15. トンネルの 入口 が見えてきた □
16. お父さんは今年で 何才 になるの □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい1 B

なまえ

/ 16

1. 姉は絵をかく 天(てん) □(さい) だと言われる
2. 算(さん) □(すう) のテストで百点をとる
3. 四月に □(にゅう) 学(がく) する日を待(ま)つ
4. おじがけがで □(にゅう) 院(いん) する
5. 姉は 多(た) □(さい) で習(なら)い事(ごと)が多い
6. カレンダーの □(すう) 字(じ) を読む
7. げんかんの 戸 をそっと開(あ)ける □
8. 妹になわとびを 教 える □
9. 新 しい 筆箱(ふでばこ)を買ってもらう □
10. おやつのクッキーを 一 つ ずつくばる □
11. 晴れた日は 戸 外 で遊(あそ)ぶ □
12. 教 室 のかべに習字(しゅう)をはる □
13. 兄からこまの回し方を 教 わる □
14. 父は毎朝 新 聞 を読む □
15. 春から 新 た な気持(も)ちでがんばる □
16. はじめてのおつかいに 一 人 で行(い)く □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい1 B-2

なまえ

/ 14

1. 駅(えき)の □(ほう) 向(こう)へ歩いていく
2. 動物園(どうぶつえん)の □(いり) 口(ぐち)にならぶ
3. 音楽(がく)に合(あ)わせて □(にゅう) 場(じょう)する
4. 姉は絵の □(さい) 能(のう)がある
5. 小さな子に 何(なん) □(さい) かたずねる
6. 北の 地(ち) □(ほう) では雪が多い
7. カレンダーをめくると六月 一日 だった □
8. 雨がふって 一日中 外(そと)で遊(あそ)べない □
9. 朝になって 雨戸 を開(あ)ける □
10. ねこが 戸口 で待(ま)っている □
11. 音楽の後で 教室 にもどる □
12. 好(す)きな 教科 は算数だ □
13. 新聞 に学校の記事(じ)がのる □
14. 元日に 新年 のあいさつをする □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい2 A

なまえ

/ 17

1. 大昔(むかし)の 文(ぶん) □(めい) について調(しら)べる
2. □(はる) 休(やす)み に弟と山へ行く
3. 約束(やくそく)の □(じ) 間(かん) におくれる
4. 川の □(ど) 手(て) でつくしをつむ
5. □(ど) 曜(よう) 日(び) はプールに行(い)く
6. 電話は便利(べんり)な 発(はつ) □(めい) だ
7. こよみの上では今日が 立(りっ) □(しゅん) だ
8. 電話の形は □(じ) 代(だい) で変(か)わる
9. 夜空に 星 がきらきらかがやく
10. お 昼 にはカレーを食べる
11. 雨がやんで空が 晴 れ る
12. お正月に新(あたら)しい 年 をむかえる
13. 火 星 は赤く見える
14. 遠足の 昼 食 はおにぎりだ
15. 運動会(うんどう)は 晴 天 にめぐまれた
16. 歌を歌って気分を 晴 ら す
17. 学 年 ごとにならんで写真(しゃしん)をとる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい2 B

なまえ

/ 15

1. 山の上で □(ほし)空(ぞら)を見上げる
2. 遠足の □(ちゅう)食(しょく)はおにぎりだ
3. 運動(うんどう)会は □(せい)天(てん)にめぐまれた
4. ぼくと姉(あね)は 学(がく)□(ねん)が二つちがう
5. 流(りゅう)□(せい)に願(ねが)いをかける
6. ふくろうは □(ひる)間(ま)ねむっている
7. 雲一つない 快(かい)□(せい)の空が広がる
8. 日がさしこむ 明るい 部屋(へや) □
9. 春 になると桜(さくら)がさく □
10. 朝ごはんを食べる 時間 がない □
11. 花だんの 土 をスコップでほる □
12. 大昔(むかし)の 文明 について調(しら)べる □
13. 夜道に 明かり がともる □
14. こよみの上では今日が 立春 だ □
15. 楽しい 時 はすぐに過(す)ぎる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい2 B-2

なまえ

/ 11

1. 来(らい)は海(うみ)に行(い)きたい
2. 青(せい)がギターをひいて歌(うた)う
3. 地球(きゅう)のまわりを衛(えい)が回る
4. 日曜は前(まえ)に買い物(もの)に行く
5. 秋(あき)れの日に遠足へ行く
6. 朝のきりが少しずつ
7. 明るむ
8. 明らむ
9. 明らか
10. 土手の上で犬と散歩(さんぽ)する
11. 春分のころに南からつばめがやって来る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい2 B-3

なまえ

/ 11

1. 少(しょう)[ねん]が犬をつれて旅(たび)に出る
2. 火(か)[せい]は赤く見える
3. 夏の真(ま)[ひる]は日ざしが強い
4. お正月に[は]れ着(ぎ)を着(き)る
5. 歌を歌って気分を[はらす]
6. つゆが明ける と夏が来る [ ]
7. 明く [ ]
8. 明くる [ ]
9. 雨がふると 赤土 の道(みち)がぬかるむ [ ]
10. 春先 の野原でつくしをとる [ ]
11. かみなりの光と音がほぼ 同時 だった [ ]

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい2 B-4

なまえ

/ 10

1. 姉(あね)はぼくより三さい□(とし)上(うえ)だ
2. 夏の夜空で□(せい)座(ざ)をさがす
3. 工場は□(ちゅう)夜(や)休まず動(うご)く
4. 予報(よほう)では明日は□(はれる)
5. 明かす□
6. 土日はサッカーの練習(れんしゅう)がある□
7. エジプトの古い文明を本で知る□
8. ねる前に明かりを消(け)す□
9. 立春を過(す)ぎても寒(さむ)い日が続(つづ)く□
10. 遠足の日時を知らせる□

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい3 A

なまえ

/ 18

1. カレンダーで □(よう) 日(び) を確(たし)かめる
2. □(ちょう) 食(しょく) にパンを食べる
3. おばが □(とう) 京(きょう) から会いに来る
4. お □(しょう) 月(がつ) にかるたで遊(あそ)ぶ
5. 毎週 火(か) □(よう) にごみを出す
6. □(あさ) 日(ひ) がのぼって空が明るくなる
7. この道は □(とう) 西(ざい) にまっすぐのびる
8. クイズの □(せい) 解(かい) を発表(はっぴょう)する
9. □ ノートに日記を 書く
10. □ 明日いとこが家に 来る
11. □ 友達(だち)と 楽しい 時間をすごす
12. □ お祭(まつ)りで 百円 のくじを引(ひ)く
13. □ 新しい 図書 が学校にとどく
14. □ 来年 は妹も小学生になる
15. □ 来る 十月五日に体育祭を開く
16. □ ねる前にしずかな 音楽 を聞く
17. □ 子ねこにとってこたつは 楽園 だ
18. □ このさくらの木は 百年 も前(まえ)からある

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい3 A-2

なまえ

/ 15

1. 日(にち)□(よう)日(び)に公園へ行く
2. 土(ど)□(よう)日(び)はピアノを習(なら)う
3. 夏休みに□(あさ)顔(がお)の花がさく
4. 駅(えき)の□(ひがし)口(ぐち)で友達(だち)と会う
5. 明日の関(かん)□(とう)地方は雨になる
6. カメラの□(しょう)面(めん)に立つ
7. □(しょう)直(じき)に話(はな)してあやまる
8. 寝不足が続くと勉強に支障を□来す
9. キャンプで星空を□楽しむ
10. たくさんの□図書がたなにならぶ
11. □読書が好(す)きな姉
12. □来年の春には弟が生まれる
13. □ひとりで気楽に旅(たび)をする
14. 赤いけん玉は□三百円だった
15. □ぼくの学校には八百人が通(かよ)っている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい3 B

なまえ

/ 13

1. ねる前にしずかな 音(おん) □(がく) を聞く
2. ポケットに □(ひゃく) 円(えん) 玉がある
3. 子ねこにとってこたつは □(らく) 園(えん) だ
4. 遠足は □(たのしい) 一日だった
5. この人形(ぎょう)は □(ひゃく) 年(ねん) 前(まえ)のものだ
6. 図書室で本を借(か)りる 曜日 が決(き)まった □
7. 朝 早く起(お)きて顔をあらう □
8. 太陽(よう)は 東 からのぼって西にしずむ □
9. 正しい 答(こた)えをえらぶ □
10. 朝食 にパンを食べる □
11. おばが 東京 から会いに来る □
12. 毎週 水曜 はプールがある □
13. お正月 にお年玉をもらう □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい3 B-2

なまえ

/ 14

1. 新しい図(と)□(しょ)が学校にとどく
2. □(らい)年(ねん)は妹も小学生になる
3. 夜ねる前に読(どく)□(しょ)を楽しむ
4. □(らい)週(しゅう)の月曜はテストだ
5. ノートは三(さん)□(びゃく)円で買(か)える
6. 兄(あに)は四(よん)□(ひゃく)メートルおよげる
7. 日曜の朝はゆっくりねる □
8. 土曜日に友達(だち)とサッカーをする □
9. 父が朝食を作ってくれる □
10. 早朝の町はしずかだ □
11. 町を東西に大きな川が流(なが)れる □
12. 東口を出るとバス乗(の)り場がある □
13. ひいおばあちゃんは大正生まれだ □
14. テストのまちがいを赤ペンで正す □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん ふりかえり3 A

なまえ

/ 24

1. 台風の夜は雨□をしめる
2. □室のかべに習字をはる
3. □休みに弟と山へ行く
4. カレンダーで□日を確かめる
5. □食にパンを食べる
6. おばが□京から会いに来る
7. 小学校に入って□年がたつ
8. 川の□手でつくしをつむ
9. お正月のある□月は寒い
10. 畑の赤□をたがやす
11. ピアノの天才とよばれる少女
12. 手の上のどんぐりを数える
13. 声のする方をふり向く
14. 夜空に星がきらきらかがやく
15. お昼にはカレーを食べる
16. 雨がやんで空が晴れる
17. ノートに日記を書く
18. 明日いとこが家に来る
19. 友達と楽しい時間をすごす
20. おばあちゃんから入学のおいわいをもらう
21. お正月に新しい年をむかえる
22. お祭りで百円のくじを引く
23. パソコンに名前を入力する
24. 学年ごとにならんで写真をとる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん ふりかえり3 A-2

なまえ

/ 24

1. 父は毎朝 □(しん) 聞(ぶん) を読む
2. 大昔(むかし)の 文(ぶん) □(めい) について調(しら)べる
3. 約束(やくそく)の □(じ) 間(かん) におくれる
4. お □(しょう) 月(がつ) にかるたで遊(あそ)ぶ
5. 道(みち)で □(いち) 円(えん) 玉を見つけた
6. 赤いえんぴつを □(いっ) 本(ぽん) かりる
7. □(ど) 曜(よう) 日(び) はプールに行(い)く
8. □(ど) 足(そく) で家(いえ)に上がらない
9. お客(きゃく)さんを □(と) 口(ぐち) で見送(おく)る
10. 庭(にわ)の 木(き) □(ど) を開(あ)けて出る
11. 国語の □(きょう) 科(か) 書(しょ) を読む
12. 学校で □(きょう) 育(いく) を受(う)ける
13. 家族(ぞく)で □(しん) 年(ねん) を祝(いわ)う
14. 電話は便利(べんり)な 発(はつ) □(めい) だ
15. □ トンネルの 入口 が見えてきた
16. □ ぼくは兄(あに)より四つ 年下 だ
17. □ お父さんは今年で 何才 になるの
18. □ 多才 な父は料理(りょう)もギターもできる
19. □ 電話番号(ごう)の 数字 をメモする
20. □ この漢字(かん)は 画数 が多い
21. □ この 地方 は米がおいしい
22. □ 旅(たび)先で聞いた 方言 をまねする
23. □ キャンプで 星空 をながめる
24. □ いつか 火星 に行ってみたい

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん ふりかえり3 B

なまえ

/ 24

1. 姉は絵をかく 天(てん)□(さい) だと言われる
2. 算(さん)□(すう) のテストで百点をとる
3. 駅(えき)の□(ほう) 向(こう) へ歩いていく
4. 山の上で□(ほし) 空(ぞら) を見上げる
5. 遠足の□(ちゅう) 食(しょく) はおにぎりだ
6. 運動(うんどう)会は□(せい) 天(てん) にめぐまれた
7. □(らい)□(ねん) は妹も小学生になる
8. ねる前にしずかな 音(おん)□(がく) を聞く
9. 四月に□(にゅう) 学(がく) する日を待(ま)つ
10. ぼくと姉(あね)は 学(がく)□(ねん) が二つちがう
11. おじがけがで□(にゅう) 院(いん) する
12. げんかんの 戸 をそっと開(あ)ける □
13. 妹になわとびを 教 える □
14. 新 しい 筆箱(ふでばこ)を買ってもらう □
15. 日がさしこむ 明 るい 部屋(へや) □
16. 春 になると桜(さくら)がさく □
17. 朝ごはんを食べる 時 間 がない □
18. 図書室で本を借(か)りる 曜 日 が決(き)まった □
19. 朝 早く起(お)きて顔をあらう □
20. 太陽(よう)は 東 からのぼって西にしずむ □
21. おやつのクッキーを 一 つ ずつくばる □
22. 花だんの 土 をスコップでほる □
23. 正 しい 答(こた)えをえらぶ □
24. はじめてのおつかいに 一 人 で行(い)く □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん ふりかえり3 B-2

なまえ

/ 24

1. 新しい図(と)□(しょ)が学校にとどく
2. ポケットに□(ひゃく)円(えん)玉がある
3. 動物園(どうぶつえん)の□(いり)口(ぐち)にならぶ
4. 音楽(がく)に合わせて□(にゅう)場(じょう)する
5. 来(らい)□(ねん)は海(うみ)に行きたい
6. 少(しょう)□(ねん)が犬をつれて旅(たび)に出る
7. 姉は絵の□(さい)能(のう)がある
8. 姉は多(た)□(さい)で習(なら)い事(ごと)が多い
9. 北の地(ち)□(ほう)では雪が多い
10. おばあちゃんは□(ほう)言(げん)で話す
11. 火(か)□(せい)は赤く見える
12. カレンダーをめくると六月 一日 だった □
13. 雨がふって 一日 中 外(そと)で遊(あそ)べない □
14. 土 手 の上で犬と散歩(さんぽ)する □
15. 雨がふると 赤 土 の道(みち)がぬかるむ □
16. 朝になって 雨 戸 を開(あ)ける □
17. ねこが 戸 口 で待(ま)っている □
18. 音楽の後で 教 室 にもどる □
19. 好(す)きな 教 科 は算数だ □
20. 新 聞 に学校の記事(じ)がのる □
21. 春から 新 た な気持(も)ちでがんばる □
22. エジプトの古い 文 明 を本で知る □
23. ねる前に 明 か り を消(け)す □
24. 東の空が赤くなり夜が 明 け る □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい4 A

なまえ

/ 15

1. コンサートで □か 手しゅ が手をふる
2. 毎朝犬と 散さん □ぽ に出かける
3. すしの 赤あか □がい はこりこりしている
4. オリンピックで 国こっ □か が流れる
5. 車に気をつけて □ほ 道どう を通る
6. すなはまで 巻まき □がい をひろう
7. □ 電池が切れて時計が 止まる
8. □ 台所ところから 母 のよぶ声がする
9. □ ねこのぬけた 毛 が服ふくにつく
10. □ 今 は午後三時だ
11. □ 台風で花火大会が 中止 になる
12. □ 目覚ざまし時計の音を 止める
13. □ 父は 母校 の先生になった
14. □ 暖かい 羽毛 の布団で寝る
15. □ 今週 は毎日雨が降ふっている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい4 A-2

なまえ

/ 16

1. □(まい) 日(にち) 朝ごはんの後に歯(は)をみがく
2. 音楽の時間に 校(こう) □(か) を習(なら)う
3. 教室に明るい □(うた) 声(ごえ) がひびく
4. 勇気(ゆう)を出して 一(いっ) □(ぽ) 前に出る
5. 科学の 進(しん) □(ぽ) で生活が便利(べんり)になる
6. □(まい) 週(しゅう) 土曜日に野球(きゅう)をする
7. ホタテの □(かい) 柱(ばしら) をバターで焼(や)く
8. アサリは 二(に) 枚(まい) □(がい) だ
9. □ 誕生日(たん)会は 今回 もぼくの家で開(ひら)く
10. □ 今夜 は星がよく見える
11. □ 中止 になった遠足は来週行く
12. □ 転(ころ)がってきたボールを足で 止める
13. □ 大人になって 母校 をたずねる
14. □ 子ねこが 母親 のそばでねむる
15. □ 毛糸 の玉でねこが遊(あそ)ぶ
16. □ 毛虫 はやがてちょうやがになる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい4 B

なまえ

/ 18

1. 台風で花火大会が 中(ちゅう) □(し) になる
2. 父は □(ぼ) 校(こう) の先生になった
3. 冬は □(け) 糸(いと) の手ぶくろをはめる
4. □(こん) 回(かい) のテストは百点だった
5. □(こん) 月(げつ) のカレンダーに予定(よてい)を書く
6. 赤信号(しんごう)で車が 停(てい) □(し) する
7. 運動会(うんどう)に 父(ふ) □(ぼ) が見に来る
8. 木の葉(は)に □(け) 虫(むし) がついている
9. おふろで好(す)きな曲(きょく)を 歌う
10. 雨の日は駅(えき)まで 歩く
11. 朝顔に 毎日 水をやる
12. しおひがりで 貝 をたくさんとる
13. コンサートで 歌手 が手をふる
14. 教室に明るい 歌声 がひびく
15. 毎朝犬と 散歩 に出かける
16. 打率〇・三五〇を 歩合 で言うと三割五分だ
17. 兄は 毎週 水曜日にじゅくへ行く
18. 貝 が ら を耳に当(あ)てると波(なみ)の音がする

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい4 B-2

なまえ

/ 15

1. こん 週(しゅう)の金曜日は遠足だ
2. こん 夜(や)は花火大会がある
3. ゲームを一時 休(きゅう)し する
4. ろう下を走るのは 禁(きん)し だ
5. 外国の友達(だち)が ぼ 国(こく)に帰る
6. はは の 日(ひ)に花をおくる
7. 暖かい 羽(う)もう の布団で寝る
8. キツネの け 皮(がわ)はふかふかだ
9. 自分の道を 歩む
10. 人気の 歌手 が町にやって来る
11. 朝の会で 校歌 を練習(れんしゅう)する
12. 新しい 歩道 ができて安全(あんぜん)になった
13. テレビのアニメを 毎回 楽しみにしている
14. 岩(いわ)のすきまに 貝 がくっついている
15. 魚屋(さかなや)さんに 赤貝 がならぶ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい5 A

なまえ

/ 16

1. 時計の 電(でん) □(ち) を入れかえる
2. 外国での 生(せい) □(かつ) になれる
3. 玉入れの □(てん) 数(すう) をみんなで数える
4. 自(じ) □(ぶん) で朝ごはんを作る
5. 晴れた日は 気(き) □(ぶん) がいい
6. 古(ふる) □(いけ) にかえるが飛(と)びこむ
7. ふくろうは夜に □(かつ) 動(どう) する
8. 山の中ほどの 地(ち) □(てん) で休む
9. 汽車 □ がけむりを出して走る
10. 船の上から広い 海 □ をながめる
11. 日曜日に 父 □ とキャッチボールをする
12. ぼくと兄は 同じ □ 学校に通っている
13. 姉が 海外 □ から絵葉書(はは)をくれる
14. 先生が 父母 □ に手紙を書く
15. ぼくと弟は 同時 □ に手を上げた
16. 汽船 □ が海をわたって外国へ行く

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい5 B

なまえ

/ 16

1. おじいさんは□き車で通学した
2. 姉が□かい外がから絵葉書をくれる
3. 先生が□ふ母に手紙を書く
4. 二つの学校が合□どう合で遠足に行く
5. 二人が□どう時にゴールした
6. 大きな□き船が港に入る
7. □かい岸で貝がらを拾う
8. 弟は□ちち親に顔が似ている
9. 公園の池でボートに乗る
10. カブトムシの生活を観察する
11. 二つの点を直線で結ぶ
12. クラスを四つの班に分ける
13. 時計の電池を入れかえる
14. 自分の考えを発表する
15. 夏祭りで町に活気が出る
16. 点数がよくて先生にほめられた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい6 A

なまえ

/ 17

1. ホットプレートで［　　］（ぎゅう）肉（にく）を焼（や）く
2. 遠足のお弁当（べん）を［　　］（よう）意（い）する
3. かけっこで一（いち）［　　］（ばん）になる
4. 今（こん）［　　］（や）は月がとてもきれいだ
5. 大みそかは深（しん）［　　］（や）まで起（お）きている
6. 水（すい）［　　］（ぎゅう）が田んぼで働（はたら）く
7. 先生がテストの［　　］（よう）紙（し）を配（くば）る
8. くじの［　　］（ばん）号（ごう）が当たる
9. 兄は理科が得意（とくい）だ［　　］
10. 山という字の画数は三だ［　　］
11. 父がこわれたいすを直すこわれたいすを［　　］
12. 広い運動場（うんどう）で走る［　　］
13. 美術館（びじゅつかん）で絵画を見る［　　］
14. ものさしで直線を引く［　　］
15. わたしがやったと正直に言う［　　］
16. おばあちゃんの家の広間でお正月をすごす［　　］
17. 父はこの町の地理にくわしい［　　］

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい6 A-2

なまえ

/ 16

1. 花火が□空に上がる
2. 明るい月□に池の水が光る
3. 子□がよろよろと立ち上がる
4. 給食で□乳を飲む
5. 古いタオルを活□する
6. ハサミは使□したら元にもどす
7. 落とし物を交□にとどける
8. 給食の当□でエプロンを着る
9. 直ちに□
10. ほめられて弟のきげんが直る□
11. 広場のふん水で小さな子が遊ぶ□
12. 教室の広さをメジャーではかる□
13. 物語の主人公の心理を考える□
14. ろう下に絵画をかざる□
15. 有名な画家の絵を見る□
16. 正直に話したら母が許してくれた□

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん たんい6 B

なまえ

/ 17

1. 父が家で □り 科(か) の実験(じっけん)を見せる
2. 美術館(びじゅつかん)で 絵(かい) □が を見る
3. わたしがやったと 正(しょう) □じき に言う
4. 町の □ひろ 場(ば) でお祭(まつ)りがある
5. 北海道には □こう 大(だい) な土地がある
6. 父が日曜日に 料(りょう) □り を作る
7. 白い □が 用(よう) 紙(し) に絵をかく
8. ものさしで □ちょく 線(せん) を引く
9. パンクした自転車(てんしゃ)を □なおす
10. 牛がのんびり草を食べている □
11. ジャムを作るのにいちごを用いる □
12. クラスで一番足が速(はや)い □
13. 冬は五時にはもう夜になる □
14. ホットプレートで牛肉を焼(や)く □
15. 遠足のお弁当(べんとう)を用意する □
16. 今夜はカレーライスを作ろう □
17. 道に迷(まよ)って交番に行く □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん ふりかえり6 A

なまえ

/ 24

1. 台風の夜は 雨(あま) □(ど) をしめる
2. 父は毎朝 □(しん) 聞(ぶん) を読む
3. 大昔(むかし)の 文(ぶん) □(めい) について調(しら)べる
4. カレンダーで □(よう) 日(び) を確(たし)かめる
5. おばが □(とう) 京(きょう) から会いに来る
6. コンサートで □(か) 手(しゅ) が手をふる
7. 時計の 電(でん) □(ち) を入れかえる
8. 玉入れの □(てん) 数(すう) をみんなで数える
9. ホットプレートで □(ぎゅう) 肉(にく) を焼(や)く
10. かけっこで 一(いち) □(ばん) になる
11. 妹になわとびを 教える □
12. 春になると桜(さくら)がさく □
13. 朝 早く起きて顔をあらう □
14. 雨の日は駅(えき)まで 歩く □
15. カブトムシの 生活 を観察(かんさつ)する □
16. ジャムを作るのにいちごを 用いる □
17. おやつのクッキーを 一つ ずつくばる □
18. 花だんの 土 をスコップでほる □
19. 正しい 答(こた)えをえらぶ □
20. しおひがりで 貝 をたくさんとる □
21. クラスを四つの班(はん)に 分ける □
22. 冬は五時にはもう 夜 になる □
23. 入学したばかりの 一年生 が校庭(てい)にならぶ □
24. 雨がふると 赤土 の道(みち)がぬかるむ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん ふりかえり6 A-2

なまえ

/ 24

1. 約束(やくそく)の□間(かん)におくれる
2. □日(まい)朝ごはんの後に歯(は)をみがく
3. お客(きゃく)さんを□口(ぐち)で見送(おく)る
4. 庭(にわ)の木(き)□(ど)を開(あ)けて出る
5. 家族(ぞく)で□年(ねん)を祝(いわ)う
6. 真(ま)っ白な□雪(せつ)に足あとをつける
7. 電話は便利(べんり)な発(はつ)□(めい)だ
8. 先生の説(せつ)□(めい)をよく聞く
9. 電話の形は□代(だい)で変(か)わる
10. 日(にち)□日(び)に公園へ行く
11. 土(ど)□日(び)はピアノを習(なら)う
12. カレンダーをめくると六月一日だった □
13. 雨がふって一日中外(そと)で遊(あそ)べない □
14. 自分の考えを発表(はっぴょう)する □
15. 折(お)り紙を半分に折(お)る □
16. 土手の上で犬と散歩(さんぽ)する □
17. 今夜はカレーライスを作ろう □
18. 虫の声が聞こえる月夜に外を歩く □
19. 音楽の後で教室にもどる □
20. 好(す)きな教科は算数だ □
21. 春先の野原でつくしをとる □
22. 立春を過(す)ぎても寒(さむ)い日が続(つづ)く □
23. 父が朝食を作ってくれる □
24. 早朝の町はしずかだ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん ふりかえり6 B

なまえ

/ 24

1. 算(さん)□(すう)のテストで百点をとる
2. 遠足の□(ちゅう)食(しょく)はおにぎりだ
3. □(らい)□(ねん)は妹も小学生になる
4. 父は□(ぼ)校(こう)の先生になった
5. 姉が□(かい)外(がい)から絵葉書をくれる
6. 美術館(びじゅつかん)で絵(かい)□(が)を見る
7. 四月に□(にゅう)学(がく)する日を待(ま)つ
8. ぼくと姉(あね)は学(がく)□(ねん)が二つちがう
9. □(こん)回(かい)のテストは百点だった
10. 二つの学校が合(ごう)□(どう)で遠足に行く
11. 町の□(ひろ)場(ば)でお祭(まつ)りがある
12. □(こん)月(げつ)のカレンダーに予定(よてい)を書く
13. ピアノの天才とよばれる少女 □
14. 声のする方をふり向(む)く □
15. 夜空に星がきらきらかがやく □
16. 雨がやんで空が晴れる □
17. ノートに日記を書く □
18. 友達(だち)と楽しい時間をすごす □
19. 電池が切れて時計が止まる □
20. ねこのぬけた毛が服(ふく)につく □
21. 汽車がけむりを出して走る □
22. 日曜日に父とキャッチボールをする □
23. 兄は理科が得意(とくい)だ □
24. 父がこわれたいすを直す □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん ふりかえり6 B-2

なまえ

/ 24

1. ポケットに□円(ひゃくえん)玉がある
2. □週(こんしゅう)の金曜日は遠足だ
3. □夜(こんや)は花火大会がある
4. 動物園(どうぶつえん)の□口(いりぐち)にならぶ
5. 音楽(がく)に合(あ)わせて□場(にゅうじょう)する
6. 二人(ふたり)が□時(どうじ)にゴールした
7. 九回(くかい)に□点(どうてん)に追(お)いついた
8. 来(らい)□年(ねん)は海(うみ)に行(い)きたい
9. 少(しょう)□年(ねん)が犬をつれて旅(たび)に出る
10. 北海道(ほっかいどう)には□大(こうだい)な土地がある
11. ホテルの□間(ひろま)に集(あつ)まる
12. カレンダーの□字(すうじ)を読む
13. けんすいの回(かい)□数(すう)を記録(きろく)する
14. ふくろうは□間(ひるま)ねむっている
15. 夏(なつ)の真(ま)□昼(ひる)は日ざしが強い
16. □多才(たさい)な父は料理(りょう)もギターもできる
17. □才気(さいき)あふれるわかい画家
18. □この地方(ちほう)は米がおいしい
19. □旅先(たびさき)で聞いた方言(ほうげん)をまねする
20. □キャンプで星空(ほしぞら)をながめる
21. □いつか火星(かせい)に行ってみたい
22. □晴天(せいてん)が続(つづ)いて畑(はたけ)がかわく
23. □秋晴(あきば)れの空にとんぼが飛(と)ぶ
24. □たくさんの図書(としょ)がたなにならぶ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 18

6	5	4	3	2	1
方	新	数	教	才	戸
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
晴	時	昼	春	星	明
部首	部首	部首	部首	部首	部首

18	17	16	15	14	13
楽	東	来	朝	書	曜
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん かん字のしくみ 2

なまえ

/ 18

6	5	4	3	2	1
毛	毎	母	歩	止	歌
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
父	点	海	活	汽	池
部首	部首	部首	部首	部首	部首

18	17	16	15	14	13
直	番	画	用	理	牛
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん ふたつのよみ

なまえ

/ 24

次の——線の漢字の読みをひらがなで□に記せ。

1. 晴れた日は 戸外 で遊ぶ □
2. げんかんの 戸 をそっと開ける □
3. 字の上手な書き方を先生に 教わる □
4. 学校で 教育 を受ける □
5. 算数 の時間に九九を言う □
6. 手の上のどんぐりを 数える □
7. 人気まんがの 新作 が出る □
8. 春から 新たな 気持ちでがんばる □
9. この 地方 は米がおいしい □
10. 物の 見方 が人によってちがう □
11. 日がさしこむ 明るい 部屋 □
12. エジプトの古い 文明 を本で知る □
13. キャンプで 星空 をながめる □
14. 火星 は赤く見える □
15. 春先 の野原でつくしをとる □
16. 春分 の日は昼と夜がほぼ同じ □
17. 夏の 昼間 は外がとても暑い □
18. 遠足の 昼食 はおにぎりだ □
19. 約束の 時間 におくれる □
20. 楽しい 時 はすぐに過ぎる □
21. 運動会は 晴天 にめぐまれた □
22. お正月に 晴れ着 を着る □
23. 町の 書店 に新しい本がならぶ □
24. ノートに日記を 書く □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん じゅくごのくみたて

なまえ

/ 20

二字の意味のつながりを考え、合う説明の記号を書きましょう。

- ア 意味の近い二字
- イ 反対の意味や対になる二字
- ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す
- エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す
- オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する

1. 木戸 □
2. 才能 □
3. 教育 □
4. 回数 □
5. 新雪 □
6. 方言 □

7. 流星 □
8. 春分 □
9. 昼夜 □
10. 同時 □
11. 快晴 □
12. 読書 □
13. 早朝 □
14. 来月 □

15. 東西 □
16. 楽器 □
17. 歌声 □
18. 停止 □
19. 徒歩 □
20. 父母 □

温暖 急行 左右 読書 未定

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん よじじゅくご

なまえ

/ 24

読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましょう。

1. □子佳人（サイ）
2. 権謀術□（スウ）
3. 斬□奇抜（シン）
4. 八□美人（ボウ）
5. 単純□快（メイ）
6. □夏秋冬（シュン）
7. □夜兼行（チュウ）
8. □期尚早（ジ）
9. □耕雨読（セイ）
10. 一□一夕（チョウ）
11. 故事□歴（ライ）
12. □奔西走（トウ）
13. 喜怒哀□（ラク）
14. 高□放吟（カ）
15. 丁丁発□（シ）
16. 独立独□（ポ）
17. 金城湯□（チ）
18. □殺自在（カッ）
19. □千山千（ウミ）
20. □子相伝（フ）
21. 鶏口□後（ギュウ）
22. □非曲直（リ）
23. 天地無□（ヨウ）
24. □蛇添足（ガ）

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん ごじをなおす

なまえ

/ 24

次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1. 晴れた日は庫外で遊(あそ)ぶ
   誤 正
2. 姉は絵をかく天妻だと言われる
   誤 正
3. 矯室のかべに習字(しゅう)をはる
   誤 正
4. カレンダーの枢字を読む
   誤 正
5. クラスに浸顔が加(くわ)わる
   誤 正
6. おばあちゃんは法言で話す
   誤 正
7. 先生の説盟をよく聞く
   誤 正
8. 夏の夜空で醒座をさがす
   誤 正
9. こよみの上では今日が立俊だ
   誤 正
10. 遠足の柱食はおにぎりだ
    誤 正
11. 約束(やくそく)の次間におくれる
    誤 正
12. 木陽はスイミングに通う
    誤 正
13. 庁食にパンを食べる
    誤 正
14. 雷年は妹も小学生になる
    誤 正
15. この道は桃西にまっすぐのびる
    誤 正
16. 連休(れん)は行絡の車が多い
    誤 正
17. オリンピックで国苛が流(なが)れる
    誤 正
18. 赤信号(しんごう)で車が停子する
    誤 正
19. 駅(えき)までは徒舗で十分だ
    誤 正
20. 父は墓校の先生になった
    誤 正
21. おじいさんは米回同じ話をする
    誤 正
22. 羊網でセーターを作る
    誤 正
23. 夏は貯水恥の水が減(へ)る
    誤 正
24. おじいさんは器車で通学した
    誤 正

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 5かん おなじおんのかんじ

なまえ

/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

1. 父は□コを集めている（書）
2. 晴れた日は□コで遊ぶ（外）
3. □キョウなのりで紙をはる（力）
4. 国語の□キョウ科書を読む（科書）
5. 家族で□シン林浴を楽しむ（林浴）
6. 真っ白な□シン雪に足あとをつける（雪）
7. □メイ人のわざにみんながおどろく（人）
8. 電話は便利な発□メイだ（発）
9. テレビの音□セイを大きくする（音）
10. 流□セイに願いをかける（流）
11. 遠足の□チュウはおにぎりだ（食）
12. 大雨で遠足が□チュウになる（止）
13. 約束の□ジ間におくれる（間）
14. 国分□ジのあとを見学する（国分）
15. 遠足のお弁当を□ヨウする（意）
16. 金□ヨウはダンスのレッスンがある（金）
17. □チョウ食にパンを食べる（食）
18. □チョウ内の人と花を植える（内）
19. おばが□トウ京から会いに来る（京）
20. お城に宝□トウがかざってある（宝）
21. おじいさんは□キ車で通学した（車）
22. 山の天□キはかわりやすい（天）
23. 水そうに□カイ水を入れて魚をかう（水）
24. なわとびでとんだ□カイ数を数える（数）

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10